

活動ノート



3月23日(日)

カブトムシの森 除伐と草刈

9:30~15:30



◆参加者: 鎌田、松雪、林、岩尾、
榎、川上、篠原、静間、新地、丸
山、首藤、樋口、山下、水崎、古
屋、日隈、栗田 計17名

◆内容: この日から柏陵高校生が
メンバーとして加わりました(い
きさつは6ページ参照)。9時半
からのスタッフミーティングの
後、レクチャールームで柏陵高校
の皆さんと顔合わせをしました。
その後、森会の説明などを行い、
その他のメンバーは準備運動を
して東屋に向かいました。

午前中は草刈りをすることに
して、B、C地区の斜面でササ、
常緑樹の萌芽枝、幼木を刈ってい
きました。途中から柏陵高校の皆
さんも加わり、作業が一気に加速
しました。

歓談しながらの昼食を終えて、
午後は除伐に取り組みました。3



班に分れ、直径が15cm~20
cm程のタブノキ、ヤブツバキの
伐採を、基本手順を説明したあと
実際に伐って貰いました。初めて
の経験だった方が大半だったと
思いますが、楽しんでチャレンジ
して頂けたようです。作業終盤に
現れたイタチ(?)に一同大いに
盛り上がりました。

参加者の半分が高校生という
ことで、活気に溢れた活動が出来
ました。使い慣れない刃物を扱う
作業で、怪我が心配でしたが、安
全に終わることができて良かった
です。若い皆さんのこれからの
活躍が楽しみです。

【ふりかえりより】

・大人数の若い人と作業ができて
満足感一杯です。(松雪)

・普通に切ればいいってもんじゃ
ないんだなあ。木って。(樋口)

4月5日(土)

アカマツ林、カブトムシの森
散策

9:30~14:30

◆参加者: 松雪、林、岩尾、榎、
富永、静間、新地、丸山、首藤、
樋口、山下、水崎、古屋、日隈、
栗田、和田 (体験) 松下、松本
計18名

◆内容: カブ森A地区での除伐、
草刈り作業の予定でしたが、雨が
ちの天候だった為、安全も考慮し
て中止しました。強雨ではなかつ
たので、午前中は柏陵高校の方々
への活動フィールド紹介を兼ねた
アカマツ林、カブトムシの森の
散策をしました。



油山の過去の様子を探ってきた
成果の紹介をしながら、アカマ
ツ林の理想的な姿、それに向けて
の作業の意義などを解説してい
きました。アカマツの実生のさま
ざまな段階を観察するのはなか
なか新鮮な感動だったようです。

カブ森C地区では半月前の活
動時に見たマムシグサの芽が成
長して、花が出ていた様子を観察
できました。前回行ってなかった
A地区では、九州の里山の様子に
ついて説明、萌芽更新のサンプル
木や昨年出ていたツチアケビの
名残などを見て、カブ森作業の意
義を実感してもらいました。

午後になっても天候が回復しな
かったため、午後は安全な伐倒作
業について簡単に復習して解散
しました。

4月20日(日)

カブ森植生調査、安全講習

9:30~15:50

◆参加者: 迫、柴戸、榎、岩尾、
鎌田、松尾、新地、山本、丸山、
樋口、山下、水崎、古屋、日隈、
栗田、和田、松下、松本、国広、
国広、静間、中嶋 計22名

◆内容: 柏陵高校生を始め新たに
会員となった方が急増した為、安
全な作業について徹底する必要



が出てきました。そこで当初来年に予定していた安全講習を急遽行うことにしました。

今日の予定の確認に続いて、植生調査の意義、やり方を簡単に説明したところで、引き続き道具の準備をして休憩小屋へ向かいました。

午前中は座学で、前半は作業の心構え、服装についての留意点、伐採・草刈り作業で使用するノコギリ、カマ、剪定バサミ、根切りバサミの使用に当たっての注意などを説明しました。

後半はロープワーク。これが簡単そうで意外と難しく、特に垣根結びには悪戦苦闘。それでも徐々にできる人が出てきて、教え合えるまでになりました。

午後は雨も上がってきたので、準備運動をして現場へ移動。植生調査班と伐採実習班に分れて活動開始。伐採実習班はまず伐倒のデモンストレーション見学から。ヤード脇のクヌギの枯木を使って安全な作業の進め方を解説しました。続いて3箇所に分れて伐倒作業を体験して貰いました。伐採木の処理をした後、現場で振り



返りをしましたが、切った後の景観変化を実感して貰えました。伐り株の年輪を見ているとその木がどんな生活をしてきたかが垣間見られます。

調査班は、昨年設定した10m×10mの方形区内に見られる蕾・花・果実をつけた植物を記録しました。

作業の後はしっかりクールダウンの運動をして引き揚げてきました。センターからぜんざいのふるまいがあって、一同おいしく頂きました。

【ふりかえりより】

- ・最初は雨だったけど、午後は晴れてよかった。(山下)
- ・ロープワーク習得します。(鎌田)

5月10日(土) アカマツ林整備(下草刈り・除伐)

9:30~16:00

◆参加者: 松雪、榊、林、静間、鎌田、岩尾、富永、松元、国広夫妻、新地、菊池、菊池(泰) 計13名

◆内容: 9時半から、いつものようにミーティングや役割分担、道具準備、準備運動をテキパキと済ませ、10時からアカマツ林での作業を始めることができました。今日の作業内容は、アカマツ林の起点側となるA・B・D地区での下草刈りと観察木以外の広葉樹の除伐が中心でしたが、懸案となっていた入口をふさぐような形で繁茂していたアオキの除伐も行いました。

作業は3班に分かれて行いましたが、各地区の現状に合わせて作業の重点を少しずつ変えました。入口部のA地区では下草が多



く、また松葉の堆積が目立ったため、下草刈りと地掻きを中心に、その他時間の許す範囲で日陰を作っていた尾根部の広葉樹を一部除伐しました。

A地区直下のB地区斜面では、ところどころで目立っていた下草やひこばえを剪定ばさみなどで辛抱強く刈っていくとともに、幼木周りの落ち葉を手掻きしました。また、遊歩道沿いに枝を張りつつあったスダジイを、大きくなる前にと思い除伐しました。B地区の下に位置する遊歩道谷側斜面のD地区では、目立つ部分の下草刈りを短時間で終えた後、10本前後の広葉樹の除伐を行いました。

この日の作業の結果、アカマツ林の入口付近はアカマツ林らしい明るい森になりつつあり、とくにD地区は前の姿から一変しています。E・F地区ではシダや広葉樹の繁茂が顕著になりつつあるため、今後なるべく早い段階での下草刈りなどを行いたいと思っています。また、広葉樹等の除伐に伴い林相が変化し、日当たりも良くなってきたので、新たな調査計画を調査班と協力しながら立案していきたいと考えています。

【ふりかえりより】

- ・3年間大変お世話になりありがとうございました。(菊池)
- ・今日は草切りと枝処理をして、1日仕事をした感じです。(富永)

5月25日(日)

森の昆虫観察会(第1回森を育てる入門講座)

10:00~15:00

◆参加者: 新牛込、鎌田、松下、静岡、松雪、林、岩尾、篠原、新地、山本、水崎、栗田、樋口、日隈、山下、和田、古屋、丸山、雪丸、安井、花田、吉田
計22名



◆内容: 今回はセンター行事として一般参加者を迎えるための活動説明会でした。講師に九大農学研究院の紙谷聡志先生に来ていただき、博多昆虫同好会の小藤佳樹氏と伊東竜平氏にも協力していただきました。会員は昆虫班と作業班に分かれました。昆虫班は、センター玄関前で日程説明など簡単なオリエンテーションを行い、早速カブ森へ移動。カブ森の中を紹介してもらいながら休憩小屋を目指しました。途中B地区で作業班による伐倒作業のデモンストレーションを見学しました。

休憩小屋に着くと、ここから紙谷先生にバトンタッチ。4班に分かれてカブ森で昆虫採集を行いました。昆虫採集のあとは休憩小屋周辺でそれぞれにお弁当を広げ、午後は1時間ほど紙谷先生から昆虫についてのお話があり、そのあと標本作りを行いました。一般参加の子どもたちは紙谷先生や小藤さんの指導で採集した昆虫や、冷凍セミを使って標本



作りに挑戦。高校生は伊東氏の指導で前日のライトトラップに集まった蛾の展翅(てんし: 標本にするために昆虫のはねを広げ、固定すること)に取り組みました。に取り組みました。

作業班は、必要度が一番高かったA地区で草刈りをしました。最近のカブ森は除間伐が進んで明るい森になった為に、林床の草本や樹木の萌芽枝、幼木、ササ類が繁茂するようになっています。アシナガバチ類がそろそろ危ないかなと思いつつ作業しましたが、幸い遭遇することもなく大きく育ったイタドリを除去しました。枯れた樹木も数本処理して、A地区の林床は一時的にすっきりしました。14時過ぎには作業を切り上げて、センターで振り返りをして15時過ぎに解散しました。

【ふりかえりより】

- 子供たちが嬉しそうで自分も楽しかった。(鎌田)
- 今年は天気も良く小さい昆虫中心でしたが、いろいろな種類が見つかり良かった。(新牛込)
- A地区が下草刈り後スッキリ。明るくなった。(林)



6月1日(日)

カブ森B、C地区草刈り

9:30~15:00

◆参加者: 榑、岩尾、松下、林、松雪、鎌田、国広(信)、国広(友)、新地、古屋、花田、吉田、富永、静岡、小川R 計15名



◆内容: この時期は春の植物が結実して枯れていき、夏の植物や萌芽枝が旺盛に生長する季節、大分鬱蒼としていて作業量は十分。それでも人数が多かったので午前中に8割程度刈れました。

草刈り機でなくカマで切るので、残したいものは保存できるのがいいところ。綺麗に刈られた斜面にノアザミがすっと立っているのはなかなかいい景観でした。

午後、残りの草刈りが終わった段階でまだ時間があったので、A地区の前回残っていた場所も刈りました。B地区では川沿いの15cm程のハイノキを切りました。

戻ってからはカマ研ぎ。初めての方もいましたが、見よう見まねで挑戦していました。鋭さを回復したカマの活躍が楽しみです。

【ふりかえりより】

- 今日は疲れたけど、多くの草を刈れたのでとても良かったです。(花田)
- シダを刈った後、下から出てきたコケがキレイで疲れも吹き飛びました。(新地)